

宮崎県感染症週報

宮崎県健康増進課感染症対策室・宮崎県衛生環境研究所

宮崎県第40週の発生動向

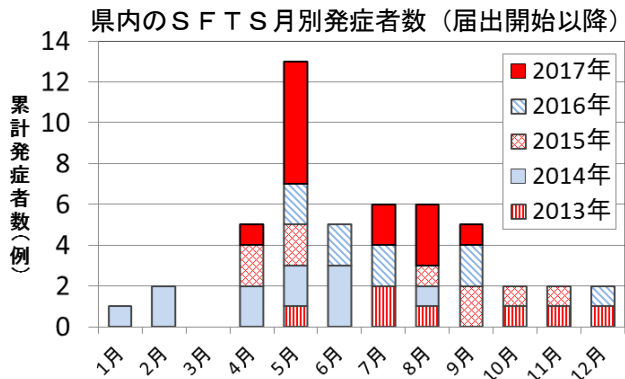
トピックス

重症熱性血小板減少症候群 (SFTS) (全数報告の感染症) :

高鍋保健所から1例報告があった。県内での報告は今年13例目で、累計49例(平成25年3月届出開始以降)である。患者は90歳代の男性で、発症は9月下旬である。ダニの刺し口は確認できず、海外渡航歴もなかった。

県内のSFTS年齢別報告数(届出開始以降)

30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	80歳代	90歳代
1	1	2	13	18	11	3



全数報告の感染症(40週までに新たに届出のあったもの)

- 1類感染症：報告なし。2類感染症：結核5例。3類感染症：腸管出血性大腸菌感染症3例。
- 4類感染症：E型肝炎1例、重症熱性血小板減少症候群1例。5類感染症：ウイルス性肝炎1例。

	疾患名	報告保健所	年齢群	性別	病型・類型	症状等
2類	結核	宮崎市	40歳代	男	肺結核	咳、痰
		都城	90歳代	男	肺結核	発熱
			80歳代	女	肺結核	咳
		延岡	50歳代	女	疑似症患者	痰、血痰
3類	腸管出血性大腸菌感染症	宮崎市	0~4歳	男	-	腹痛、水様性下痢、血便、発熱、溶血性尿毒症症候群(HUS)等 O145(VT型不明)
		都城	0~4歳	男	-	腹痛、水様性下痢、嘔吐 O165(VT1、2産生)
		高鍋	60歳代	女	無症状病原体保有者	O8(VT1、2産生)
4類	E型肝炎	宮崎市	70歳代	女	-	肝機能異常、両下肢のだるさ
	重症熱性血小板減少症候群	高鍋	90歳代	男	-	発熱、嘔吐、食欲不振、全身倦怠感、血小板・白血球減少
5類	ウイルス性肝炎	宮崎市	40歳代	男	B型	全身倦怠感、嘔吐、褐色尿、発熱、肝機能異常 ワクチン接種歴なし

定点把握の対象となる5類感染症

・定点医療機関からの報告総数は638人(定点当たり20.4)で、前週比89%と減少した。なお、前週に比べ増加した主な疾患はA群溶血性レンサ球菌咽頭炎と感染性胃腸炎で、減少した主な疾患はRSウイルス感染症と流行性角結膜炎である。

★インフルエンザ・小児科定点からの報告★

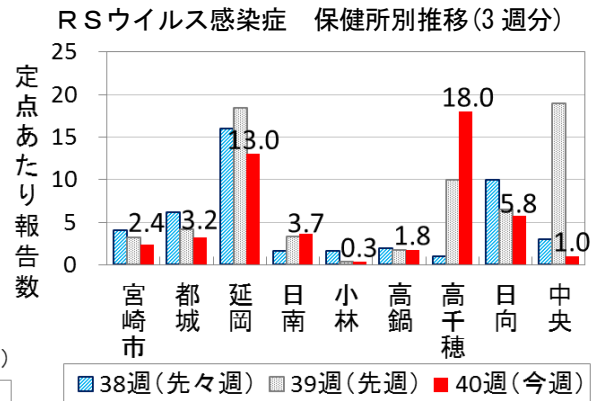
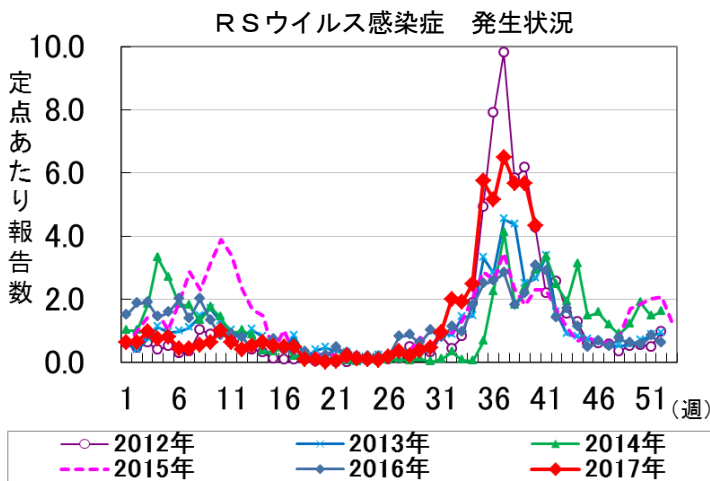
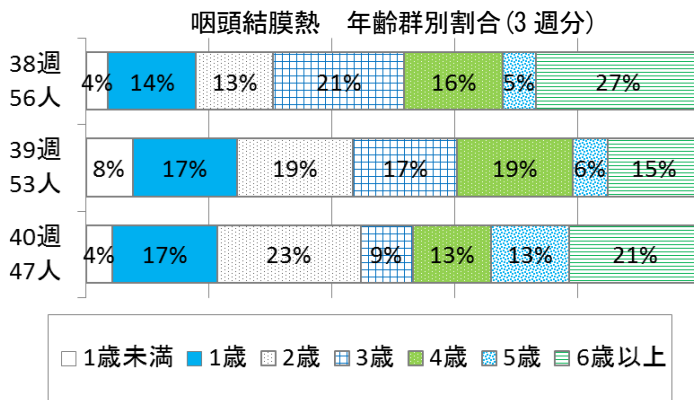
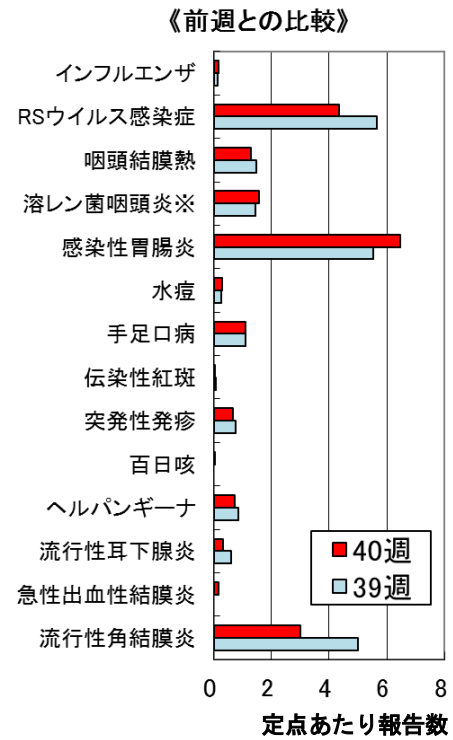
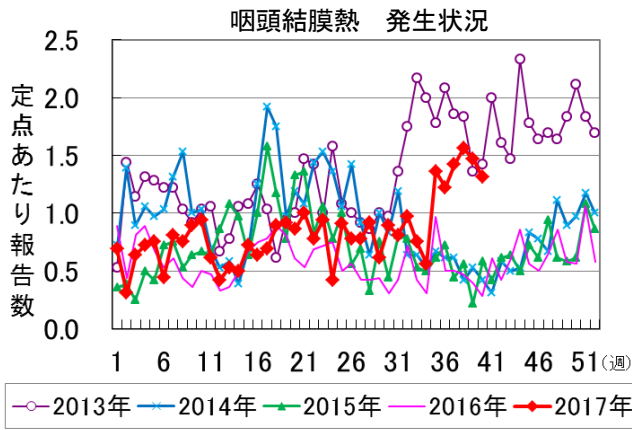
【咽頭結膜熱】

報告数は47人(1.3)で、前週比89%と減少したが、例年同時期の定点当たり平均値*(0.67)の約2.0倍である。小林(5.3)、都城(4.3)保健所からの報告が多く、年齢別は別グラフに示す。

【RSウイルス感染症】

報告数は156人(4.3)で、前週比76%と減少したが、例年同時期の定点当たり平均値*(3.0)の約1.5倍である。高千穂(18.0)、延岡(13.0)、日向(5.8)保健所からの報告が多く、年齢別は6ヶ月~1歳が全体の約6割を占めた。

* 過去5年間の当該週、前週、後週(計15週)の平均



★基幹定点からの報告★

○感染性胃腸炎 (ロタウイルス) : 延岡保健所から1例報告があり、0~4歳であった。なお、病原体の群別は不明である。

★保健所別 流行警報・注意報レベル基準値超過疾患★

保健所名	流行警報・注意報レベル基準値超過疾患
宮崎市	なし
都城	咽頭結膜熱(4.3)
延岡	なし
日南	なし
小林	咽頭結膜熱(5.3)
高鍋	なし
高千穂	なし
日向	なし
中央	なし

※ 流行警報レベル開始基準値※
 ・咽頭結膜熱(3.0)

□病原体検出情報（衛生環境研究所微生物部 平成 29 年 10 月 9 日までに検出）

★細菌

同定細菌名	年齢	性別	採取月日	臨床症状等	検出材料	同定日
<i>Salmonella</i> Braenderup (O7:e,h:e,n,z15)	5～9歳	男	2017.09.19	-	便	2017.09.27
EHEC(O26:H11 VT1)	20歳代	男	2017.09.16	下痢、血便、腹痛	便	2017.09.28

★ウイルス

同定ウイルス名	年齢	性別	採取日	臨床症状	材料	検出日
RSウイルス	0～4歳	男	2017.09.04	急性肺炎、40.0℃、上気道炎、下気道炎(肺炎)	咽頭ぬぐい液	2017.10.06
RSウイルス	0～4歳	男	2017.09.06	RSウイルス細気管支炎、39.2℃、下気道炎(気管支炎)	鼻汁	2017.10.06
インフルエンザウイルスAH1pdm09	0～4歳	女	2017.09.04	インフルエンザA型、39.8℃	咽頭ぬぐい液	2017.09.27
インフルエンザウイルスAH1pdm09	5～9歳	女	2017.08.29	熱性けいれん、インフルエンザA型、40℃、頭痛	咽頭ぬぐい液	2017.09.27
インフルエンザウイルスAH1pdm09	0～4歳	男	2017.07.28	インフルエンザA型、40.0℃、上気道炎	咽頭ぬぐい液	2017.09.27
インフルエンザウイルスAH3	40歳代	女	2017.08.01	インフルエンザA型、39.8℃、気管支炎、咳	咽頭ぬぐい液	2017.09.27
コクサッキーウイルスA6型	0～4歳	女	2017.07.29	ヘルパンギーナ、39.6℃、口内炎、発疹(丘疹)	咽頭ぬぐい液	2017.09.26
コクサッキーウイルスA6型	0～4歳	男	2017.07.19	ウイルス性肺炎疑い、38.6℃、口内炎、上気道炎	咽頭ぬぐい液	2017.09.26
コクサッキーウイルスA6型	0～4歳	男	2017.07.21	水痘疑い、40.0℃、口内炎、水疱	咽頭ぬぐい液	2017.09.26
コクサッキーウイルスA6型	0～4歳	女	2017.06.30	手足口病、38.1℃、発疹(丘疹)	咽頭ぬぐい液	2017.09.26
エコーウイルス25型	30歳代	男	2017.08.08	ウイルス感染症疑い、38.9℃、肝機能障害	咽頭ぬぐい液	2017.09.30
パレコウイルス3型	0～4歳	女	2017.09.07	不明熱、39.9℃	便 血清	2017.09.27
ヒトヘルペスウイルス6	5～9歳	女	2017.08.16	ウイルス性ヘルペス口内炎、発熱	咽頭ぬぐい液	2017.09.26
単純ヘルペスウイルス	0～4歳	女	2017.08.03	ウイルス性口内炎、38.0℃、口内炎	咽頭ぬぐい液	2017.09.26

○下気道炎症状のある幼児2名からRSウイルス(RSV)が検出された。約70%の乳児が生後最初の1年間でRSVに感染し、そのうちの1/3が下気道炎を起こすことが報告されている。今シーズンは7月上旬からRSV感染症の報告数が急増しており、9月頃から急増した過去数シーズンと比較すると早い時期からの増加となっている。RSV感染症は春まで流行が続くことが多いため、今後の動向に注意が必要である。

○4名の乳幼児からコクサッキーウイルスA6型が分離・検出された。

🇯🇵 全国 2017 年第 39 週の発生動向

□ 全数報告の感染症（全国第 39 週）

1類感染症	報告なし					
2類感染症	結核	368 例				
3類感染症	細菌性赤痢	2 例	腸管出血性大腸菌感染症	116 例	腸チフス	1 例
4類感染症	E型肝炎	4 例	A型肝炎	2 例	重症熱性血小板減少症候群	1 例
	つつが虫病	1 例	デング熱	7 例	日本紅斑熱	15 例
	レジオネラ症	44 例	レプトスピラ症	1 例		
5類感染症	アメーバ赤痢	19 例	ウイルス性肝炎	1 例	カルバペネム耐性腸内細菌感染症	22 例
	急性脳炎	10 例	クロイツフェルト・ヤコブ病	3 例	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	4 例
	後天性免疫不全症候群	16 例	侵襲性インフルエンザ菌感染症	3 例	侵襲性肺炎球菌感染症	22 例
	水痘(入院例)	1 例	梅毒	89 例	播種性クリプトコックス症	3 例
	破傷風	4 例	風しん	2 例	麻しん	4 例

□ 定点把握の対象となる5類感染症

定点医療機関当たりの患者報告総数は前週比 107%と増加した。なお、前週と比較して増加した主な疾患はA群溶血性レンサ球菌咽頭炎と流行性耳下腺炎で、減少した主な疾患はRSウイルス感染症と手足口病である。

RSウイルス感染症の報告数は7,206人(2.3)で前週比92%と減少したが、例年同時期の定点当たり平均値*(1.2)の約1.9倍である。熊本県(7.3)、徳島県(6.6)、宮崎県(5.7)からの報告が多く、年齢別では6ヶ月～2歳が全体の約7割を占めた。

咽頭結膜熱の報告数は1,307人(0.41)で前週比108%と増加し、例年同時期の定点当たり平均値*(0.27)の約1.5倍である。北海道(1.6)、宮崎県(1.5)、鹿児島県(1.3)からの報告が多く、年齢別では1～4歳が全体の約7割を占めた。

* 過去5年間の当該週、前週、後週(計15週)の平均値

宮崎県 感染症情報

(72定点医療機関)

2017年 第40週(10月2日～10月8日)

疾病名		第39週	第40週	宮崎市	都城	延岡	日南	小林	高鍋	高千穂	日向	中央
インフルエンザ	報告数	8	10		9			1				
	定点あたり	0.14	0.17	0.00	0.90	0.00	0.00	0.20	0.00	0.00	0.00	0.00
RSウイルス 感染症	報告数	204	156	24	19	52	11	1	7	18	23	1
	定点あたり	5.67	4.33	2.40	3.17	13.00	3.67	0.33	1.75	18.00	5.75	1.00
咽頭結膜熱	報告数	53	47	2	26	1	2	16				
	定点あたり	1.47	1.31	0.20	4.33	0.25	0.67	5.33	0.00	0.00	0.00	0.00
A群溶血性 レンサ球菌咽頭炎	報告数	52	57	27	16	2	6	1		1	4	
	定点あたり	1.44	1.58	2.70	2.67	0.50	2.00	0.33	0.00	1.00	1.00	0.00
感染性胃腸炎	報告数	199	233	46	30	27	23	47	22		23	15
	定点あたり	5.53	6.47	4.60	5.00	6.75	7.67	15.67	5.50	0.00	5.75	15.00
水痘	報告数	9	11	4	1	1		3	1		1	
	定点あたり	0.25	0.31	0.40	0.17	0.25	0.00	1.00	0.25	0.00	0.25	0.00
手足口病	報告数	40	40	8	5	10	1	2	1		12	1
	定点あたり	1.11	1.11	0.80	0.83	2.50	0.33	0.67	0.25	0.00	3.00	1.00
伝染性紅斑	報告数	3	1	1								
	定点あたり	0.08	0.03	0.10	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
突発性発しん	報告数	27	24	7	3	1	3	2	1		5	2
	定点あたり	0.75	0.67	0.70	0.50	0.25	1.00	0.67	0.25	0.00	1.25	2.00
百日咳	報告数		1								1	
	定点あたり	0.00	0.03	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.25	0.00
ヘルパンギーナ	報告数	31	26	4	11	4		2	3		1	1
	定点あたり	0.86	0.72	0.40	1.83	1.00	0.00	0.67	0.75	0.00	0.25	1.00
流行性耳下腺炎	報告数	22	12	1	3	1	5		1		1	
	定点あたり	0.61	0.33	0.10	0.50	0.25	1.67	0.00	0.25	0.00	0.25	0.00
急性出血性結膜炎	報告数		1	1								
	定点あたり	0.00	0.17	0.33	0.00	0.00						
流行性角結膜炎	報告数	30	18	6	8	4						
	定点あたり	5.00	3.00	2.00	4.00	4.00						
細菌性髄膜炎	報告数											
	定点あたり	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
無菌性髄膜炎	報告数											
	定点あたり	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
マイコプラズマ 肺炎	報告数											
	定点あたり	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
クラミジア肺炎	報告数											
	定点あたり	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
感染性胃腸炎 (ロタウイルス)	報告数		1			1						
	定点あたり	0.00	0.14	0.00	0.00	1.00	0.00	0.00	0.00		0.00	

インフルエンザ定点:59、小児科定点:36(インフルエンザ定点を兼ねる)、眼科定点:6、基幹定点:7

上段:報告数
下段:定点あたり報告数

●全数把握対象疾患累積報告数(2017年第1週～40週)

2類感染症	結核	143例(5)				
3類感染症	腸管出血性大腸菌感染症	17例(3)				
4類感染症	E型肝炎	3例(1)	重症熱性血小板減少症候群	13例(1)	つつが虫病	6例
	日本紅斑熱	6例	レジオネラ症	8例	レプトスピラ症	1例
5類感染症	アメーバ赤痢	2例	ウイルス性肝炎	3例(1)	カルバペネム耐性腸内細菌感染症	8例
	急性脳炎	4例	クロイツフェルト・ヤコブ病	3例	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	3例
	後天性免疫不全症候群	7例	侵襲性インフルエンザ菌感染症	2例	侵襲性肺炎球菌感染症	14例
	水痘(入院例)	2例	梅毒	10例	破傷風	5例
	麻しん	1例				

()内は今週届出分、再掲